

事業所職員 児童発達支援自己評価表 集計結果

記入年月日:令和 4 年 3 月 18 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		・活動室を広く確保し、死角がなく、全フロアをバリアフリーにしています。職員の目の届く範囲で、子どもたちが伸び伸びと活動ができるよう、環境設定に配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		・指定基準よりも多く、また様々な専門職(保育士、理学療法士、社会福祉士、看護師)を配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		・活動室を広く確保している為、歩行困難なお子さまであっても、のびのびと過ごせる環境となっています。また、必要に応じてパーテーションなどで空間を構造化しています。また、静養室も兼ね備えているので、気分不良時はもちろん、カーム室としても利用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・始業前、終業時の清掃・消毒を徹底しています。また、午前、午後で使用した教材、絵本、おもちゃなどはその都度消毒を徹底し、安全に安心してお子様たちが使用できるように努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	・毎月事業所内会議を行い、業務の改善案などを全職員で出し合っています。しかし、具体的な目標設定までには至っていない部分もあったため、今後は月1回の会議時に目標設定を行い、職員全員で目標に向かって取り組み、翌月の会議での振り返りを徹底していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・今年度開所のため、今回が初めての自己評価及び保護者からの評価となります。今回の結果を踏まえ、支援の向上に努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	・今年度開所のため、今回が初めての自己評価及び保護者からの評価となります。今回の結果を踏まえ、支援の向上に努めて参ります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	・第三者評価は実施できておりません。現在は利用者と事業所内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題とします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・事業者内研修のほか、療育センター主催の研修など積極的に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・児童発達支援管理責任者と担当職員でアセスメントを行い作成しています。作成後は、職員全員で会議を行い、統一した支援が行えるように努めています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		・チェックリスト式のアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		・保護者からの要望や、現状での課題を踏まえ、優先順位を決めながら設定をしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・具体的目標、支援の内容を「毎日のねらい」として設定し、ミーティング等で他職員にも伝えることで統一した支援に繋がっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・前月に職員全員で活動内容について会議を行い、活動プログラムを組んでいます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・6つのカテゴリー(制作・音楽・運動・室内あそび・戸外活動・イベント)から、曜日で固定せず、様々な活動を体験できるようなプログラムにしています。経験を積み、成功体験を重ねることで、自己肯定感を高めていけるような支援を行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		・個別活動と集団活動の双方を取り入れ、児童発達支援計画書に基づきそれぞれの課題に取り組んでいます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・毎日朝・夕にミーティングを行い、職員全員で細かな打ち合わせを行って支援に臨んでいます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		・ミーティングノートの活用や個別の支援記録に記入し、職員全員が共有できるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・毎日個別の記録を行い、全職員が継続した療育支援ができるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		・少なくとも半年に1回モニタリング会議を行い、計画の見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		・コロナ禍という事もあり、限られた人数やZOOM等を用いて担当者会議を行っています。 ・児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員、看護師、リハビリ職員等が可能であれば同席し、多面的な視点での会議となるよう心掛けています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		・担当者会議等で情報共有を行う他、必要時は電話での報告も随時行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		・在宅支援として、かかりつけの病院、訪問看護、訪問リハビリ等とも積極的に情報共有し、連携を図るように努めています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5		・家族を通じて医師に「医療ケア指示書」の記入を依頼し、統一したケアを実施することで連携を図っています。 ・新型コロナウイルスが落ち着けば、診察への同行やリハビリ見学等も予定しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	・令和4年1月より保育所等訪問支援を開始しました。現在、新型コロナウイルスが拡大しており、訪問支援を自粛していますが、感染縮小傾向になれば、移行支援にも尽力していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	・令和4年1月より保育所等訪問支援を開始しましたが、現在は新型コロナウイルスが拡大しており、訪問支援を自粛しています。感染縮小傾向になれば、移行支援にも尽力していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		・療育センターや拠点支援施設等の研修会には積極的に参加し、助言を頂いています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	・現在、コロナ禍という事もあり、園等との交流は図れていません。感染縮小傾向になり、要望等あれば検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5		・コロナ感染症拡大のため、会議等の機会は減っているが、開催時は参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・連絡帳の他、電話や可能であれば月に1回程度保護者様に当事業所に来所していただき、振り返りの機会を設けています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	・単独療育の他、当事業所では午後の部で親子療育を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・契約時に保護者様と確認し同意を得る形で説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		・契約時に「児童発達支援計画書」の作成についてご説明し、初回利用日までに保護者様へご説明後同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・1回/半年、個別面談を行い、現在行っている療育内容の確認をし、成長している部分、課題の部分を保護者とともに考える機会を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	・令和4年3月に保護者会(第1回目)を実施する予定でしたが、コロナ禍で蔓延防止等措置も延長となったため、今年度の実施は延期となりました。4月以降、コロナ感染縮小傾向となれば、再度時期の検討をしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・ご契約時に相談や申し出窓口(方法)についてはご案内しています。お子さまや保護者様からのご相談やお申し入れ時は、職員間での報告・連絡・相談をできる限り迅速に行い、適切に対応するように努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・月に1回「プラスだより」を利用児のご家族向けに発行しています。 また、行事の際は事前に連絡帳や電話等にて連絡を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・個人情報は鍵付き書庫にて管理しています。不要となった書類に関しては、シュレッダーでの処分を行い、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・お子さまに対しては短く具体的な指示を行うよう心掛けています。また、絵カードやジェスチャーなど視覚的補助教材も取り入れ、お子さま一人ひとりにとってわかりやすい伝達方法を考えていきます。・保護者様に対しては、変更時等は必ず記録を行って、伝達方法の工夫を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	・現在、地域の方との交流までには至っていません。コロナ感染が縮小傾向等になれば、検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	・当事業所では各種マニュアルを策定し対応しています。 ・今後は防災訓練の一環としてメール配信システムを活用した緊急時の連絡訓練を実施することも検討しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	・年に2回療育プログラムの中に、災害・火災・地震訓練を行っています。また、非常時袋の見直しや避難場所の確認、連絡先の確認など定期的に行うことで、万が一の災害時に備えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	・アセスメント時にアレルギーやてんかん、既往症、予防接種状況について看護師が中心となり詳しく話を聞かせていただき、対応させていただいております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	・アレルギーのあるお子さまに関しては、検査結果表や医師指示書を確認させていただき対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	・些細なことでもヒヤリハット報告書としてあげることで、改善策を職員全員で検討し再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	・年に1回虐待防止研修会を開催し全職員が必ず参加しています。また研修時には虐待防止マニュアルの見直しも行い、全職員への周知を徹底しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	・虐待防止マニュアルを策定し、職員全員が遵守しています。また、当事業所契約時に身体拘束についてもご説明させていただき、同意を得ています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。